

開 講 日 2015年5月29日(金) 10時50分～17時00分 ※受付: 10時00分～

ア ク セ ス 山王健保会館2F 多目的ホール

場 所 東京都港区赤坂2-5-6
山王健保会館2F 多目的ホール (入口は外堀通り側です。)

- ・地下鉄銀座線・南北線溜池山王駅・・・徒歩3分
- ・地下鉄千代田線赤坂駅・・・徒歩5分
- ・地下鉄銀座線・丸ノ内線赤坂見附駅・・・徒歩7分

参 加 費 無 料 (当日の昼食は、お弁当をご用意しております)

参 加 定 員 80名程度 (大学FD関係者様)

申 込 締 切 2015年5月25日(月) ※人数調整が必要な場合は、先着順とさせていただきます。



タイムスケジュール

10:00～ 受 付

ゲスト
スピーカー

山形大学
エンrollment・マネジメント部 教授

福島 真司 先生

ご講演60分

質疑応答・意見交換 (15分)

「学生を知り抜く」ためのIR ～山形大学EM部の挑戦～ (仮)

山形大学エンrollment・マネジメント(EM)部では、平成25年度概算要求事業(3年間)「戦略的意思決定のための全学統合型IRシステム構築による大学教育マネジメント・サイクルの持続的発展-教育・研究・社会貢献及び財務データを統合した内部評価システムによる教育の質の向上-」の採択を受けております。エンrollment・マネジメントとは、科学的マーケティングを用いた大学マネジメント手法のことです。大学におけるマーケティングとは、学生募集や寄付募集だけを指すのではなく、学生の価値の創造とその最大化のための組織一体となった活動を指します。これを実現するためには、学生を知り抜くためのIRが欠かせません。山形大学では、入学前から卒業後までの情報を一貫して分析する「総合的学情データ分析システム」構築に着手し、真のマーケティング志向の組織運営をめざしています。その要諦は、組織文化の醸成に他なりません。



12:05～12:45 ～ お昼休み (40分) ※お弁当をご用意しております。 ～

1 限目

東洋大学
文学部教育学科 教授

長谷川 勝久 先生

ご講演60分

質疑応答・意見交換 (15分)

ISM教材構造化法を用いた授業改善とアクティブラーニング

昨年の講演では、授業改善を目的とした、全学統一授業評価アンケートシステムの開発および教員へのフィードバックシートなどのコンセプト等についてお話をさせて頂きました。今回は、授業改善を授業評価アンケートとは別の視点で、より体系的・構造的に授業設計を行うための方法、およびそれに基づくアクティブラーニングなどの具体的な指導方法、授業実践例、評価について教育情報工学の立場からご提案できればと思っております。



14:00～14:10 ～ 10分間休憩 ～

2 限目

京都大学
高等教育研究開発推進センター 准教授

山田 剛史 先生

ご講演60分

質疑応答・意見交換 (15分)

教育の内部質保証の文脈から授業アンケートの在り方を再考する

授業アンケートは日本において最も歴史が古く実施規模の大きいFDの手法である。一方で、2000年代に入り、グローバル化とユニバーサル化が急速に進む中、教授・学習パラダイムの転換や第三者評価制度の導入、組織的なFDの実施義務化、各種答申やGP等競争的環境下での教育改革の推進などを受け、各大学は様々な対応を行っている。3つのポリシーの策定を含む内部質保証の構築や学修成果もその一つである。この流れは授業アンケートにも少なからず影響を与えている。本講演ではこうした動向を鑑み、授業アンケートの在り方を再考する機会としたい。



15:25～15:35 ～ 10分間休憩 ～

3 限目

立命館大学
教育開発推進機構 講師

河井 亨 先生

ご講演60分

質疑応答・意見交換 (15分)

実践の中での学生の学びと成長から考える

教育をどう評価するのかという問いは、大学や学部・学科としての評価システムをどう構築するのかといった水準で問われることが多いことと思います。今回は、具体的な実践における評価から始めて、上の大きな水準での議論への接続を図りたいと考えています。実践の中の大学の学びと成長の研究に取り組んでいる身として、具体的な実践において、何をどう評価するのか、そしてなぜ、何のために評価するのかという点から始めたいと思います。



16:50～ 終わりのごあいさつ

この機会をお見逃し無く、是非お問い合わせの上お越しください。

開講日：2015年5月29日(金)

大学FD学修会 2015のご案内 参加費無料

FD推進のための授業評価事例 ～その取り組みと改善効果～

「FD推進のための授業評価事例とその成果」をテーマに、身近で日常的なレベルでの取り組み事例とその成果についてご講演いただきます。

大学関係者の方々に広くお集まりいただき、FDの進展を促すことを学修会開催の目的としております。

他大学さまが実践された取り組みについて相互に共有することで、意見交換なども活発に行えるような機会にしたいと思っています。

大学FD学修会 2015

主催 (株) 教育ソフトウェア
アウトソーシング部

参加をご希望の方は以下をご記入の上、FAXで送信ください。
複数でお申込みの場合は、代表者の方のお名前と参加人数をご記入ください。



●ファックス

042-649-9601

※ お電話、メールでのお問い合わせもお待ちしております。



● 大学FD学修会 事務局 (直通)

042-649-9602

info@kyoikusw.co.jp

所 属：

参加人数： 人

複数の場合は代表者

TEL：

FAX：

フリガナ
お名前

E-mail：

申込締切：2015年5月25日(月)

この面をFAXにてご送信ください。

※ 人数調整が必要な場合は、先着順とさせていただきます。

まずはお気軽に、お問い合わせを。

● チラシ記載内容は予告なく変更する場合があります。このチラシ内容は2015年4月現在のものです。

詳しくは WEB で http://www.kyoikusw.co.jp/fd_forum

お電話のお問合せ 受付時間 9:00～18:00 (土日祝除く)



● 大学FD学修会 事務局 (直通)

042-649-9602



● ファックスで

042-649-9601



● メールで

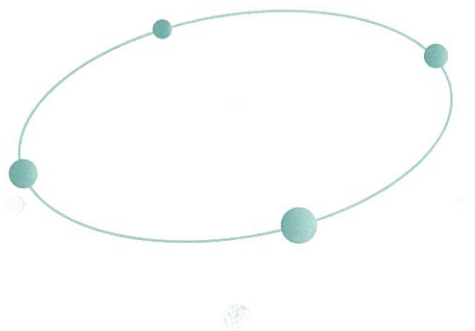
info@kyoikusw.co.jp

Faculty Development

大学FD学修会 2015

講師のご紹介

FD活動の推進, 活性化へ向け,
問題点や成功事例を共有。



(株) 教育ソフトウェア

拝啓 陽春の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は、当社主催 "大学FD学修会2015" に
ご参加申込みいただきまして、誠にありがとうございました。
大学FD関係者に限定して、広くお集まりいただきましたこと、
重ねて御礼申し上げます。今回は、「FD推進のための
授業評価事例」をテーマに、身近で日常的なレベルでの授業
改善活動をご講演いただき、関連情報を相互に共有すること
で、FDの進展を促すことを目的としています。

講師の方々に実践された事例をまじえながら、授業評価の現
状と継続的な取組みについて自己形成していくきっかけとなる
ような大学FD学修会にしたいと思っております。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご来場賜
りますよう、お願い申し上げます。

敬具

日時 2015年5月29日(金) 10:50~17:00

会場 山王健保会館2F 多目的ホール 東京都港区赤坂2-5-6

受付 10:00~

※ 受付時に、お名刺を1枚頂戴いたします。

大学FD学修会 2015 講師のご紹介

ゲストスピーカー



10:50～11:50

福島 真司 先生

山形大学 エンrollment・マネジメント部 教授

広島大学大学院／桜美林大学大学院／BBT大学大学院修了。

修士(教育学)／修士(大学アドミニストレーション)／MBA。

山陽女子短期大学日本語日本文学科助教授／宮崎国際大学比較文化学部助教授／

鳥取大学入学センター准教授等を経て現職。2011年から「EMIR勉強会」を主宰。

〔「学生を知り抜く」ためのIR ～山形大学EM部の挑戦～ (仮) 〕

山形大学エンrollment・マネジメント(EM)部では、平成25年度概算要求事業(3年間)「戦略的意思決定のための全学統合型IRシステム構築による大学教育マネジメント・サイクルの持続的発展—教育・研究・社会貢献及び財務データを統合した内部評価システムによる教育の質の向上—」の採択を受けております。エンrollment・マネジメントとは、科学的マーケティングを用いた大学マネジメント手法のことです。大学におけるマーケティングとは、学生募集や寄付募集だけを指すのではなく、学生の価値の創造とその最大化のための組織一体となった活動を指します。これを実現するためには、学生を知り抜くためのIRが欠かせません。山形大学では、入学前から卒業後までの情報を一貫して分析する「総合的学生情報データ分析システム」構築に着手し、真のマーケティング志向の組織運営をめざしています。その要諦は、組織文化の醸成に他なりません。

1. 長谷川 勝久 先生

東洋大学 文学部教育学科 教授



1. ご活動内容 (ご本人より)

専攻・専門分野 : 教育工学・数学教育学

2. 本学におけるFD活動

全学統一授業アンケートにおける統括と設計を担当させて頂いております。各学部にて独自仕様であったアンケートフォームより設問項目の精査を行い、合わせて教員フィードバックシートのデザイン、設計を担当させて頂きました。各学部独自に実施していた時代には、全体平均点との比較による相対的な評価を一つの基準としておりましたが、全学統一フォームでは、他教員や全体との比較による相対評価を排し、評価の高い教員であれ、逆に評価の低い教員であれ、何かしらの改善項目が見えるようシステムを設計いたしました。前年度との比較も可能となり、改善すべき項目が経年で視覚的に捉えることが出来るよう工夫して設計いたしました。今後は、アンケートの結果を学生へ有益な形でフィードバックする方法等について部会を通じて検討を進めたいと考えております。

プログラム

12:45～13:45

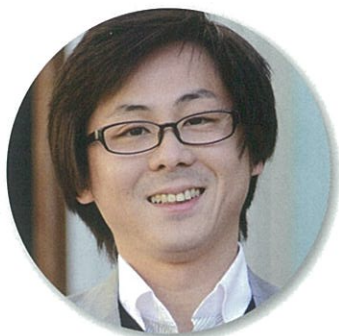
< 1 限目 内容 >

〔ISM教材構造化法を用いた授業改善とアクティブラーニング〕

昨年の講演では、授業改善を目的とした、全学統一授業評価アンケートシステムの開発および教員へのフィードバックシートのコンセプト等についてお話をさせて頂きました。今回は、授業改善を授業評価アンケートとは別の視点で、より体系的・構造的に授業設計を行うための方法、およびそれに基づくアクティブラーニングなどの具体的な指導方法、授業実践例、評価について教育情報工学の立場からご提案できればと思っております。

2. 山田 剛史 先生

京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授



プログラム

14:10~15:10

< 2 限目 内容 >

[教育の内部質保証の文脈から授業アンケートの在り方を再考する]

授業アンケートは日本において最も歴史が古く実施規模の大きいFDの手法である。一方で、2000年代に入り、グローバル化とユニバーサル化が急速に進む中、教授・学習パラダイムの転換や第三者評価制度の導入、組織的なFDの実施義務化、各種答申やGP等競争的環境下での教育改革の推進などを受け、各大学は様々な対応を行っている。3つのポリシーの策定を含む内部質保証の構築や学修成果もその一つである。この流れは授業アンケートにも少なからず影響を与えている。本講演ではこうした動向を鑑み、授業アンケートの在り方を再考する機会としたい。

1. ご活動内容（ご本人より）

専門は、青年心理学・高等教育研究です。メインテーマは「大学生の学びと成長を促す教育・学習環境のデザインと評価」です。大学生の学びと成長に関する理論的・実証的研究を進めつつ、それらを促すための大学教育のデザインと評価について実践的・開発的研究を行っています。また、組織的な教育改革・改善（主に、FD・IR）や高等教育人材の育成にも携わっています。

2. 本学におけるFD活動

この4月より現職に所属していますが、それ以前は愛媛大学(2011.4-2015.3)、島根大学(2006.8-2011.3)、京都大学(2005.4-2006.7)と10年間FD活動に携わってきました。いずれも、FDをミクロ・ミドル・マクロの3層に分け、授業アンケートや授業コンサルティングを始めとした授業レベルの改善から、教学IRとFDを連動させたカリキュラムや教育プログラムの開発・改善、さらには内部質保証の推進を含めた組織開発まで幅広く活動を行ってきています。

3. 河井 亨 先生

立命館大学 教育開発推進機構 講師



プログラム

15:35~16:35

< 3 限目 内容 >

[実践の中での学生の学びと成長から考える]

教育をどう評価するのかという問いは、大学や学部・学科としての評価システムをどう構築するのかといった水準で問われることが多いことと思います。今回は、具体的な実践における評価から始めて、上の大きな水準での議論への接続を図りたいと考えています。実践の中の大学生の学びと成長の研究に取り組んでいる身として、具体的な実践において、何をどう評価するのか、そしてなぜ・何のために評価するのかという点から始めたいと思います。

1. ご活動内容（ご本人より）

研究分野 : 大学教育学・大学生学習論

2008年より大学生の学びと成長というテーマで研究を進めて参りました。特に、正課・課外を往還しながら繰り広げられる学習ダイナミクスについて研究を進め、2014年に『大学生の学習ダイナミクス—授業内外のラーニング・ブリッジング』（東信堂）をまとめました。また、近年は、大学生の成長理論の検討を進めるとともに、学習とキャリア形成の関係構造というテーマにも着手しております。

2. 本学におけるFD活動

学生の学びと成長の実態と可能性の解明に取り組んでおります。具体的には、インスティテューショナル・リサーチとしての学生の実態調査の分析、評価方法の開発、PBL実践のアクションリサーチやカリキュラム開発に取り組んでおります。

大学FD学修会2015

お問い合わせ先 info@kyoikusw.co.jp

株式会社教育ソフトウェア アウトソーシング部

事務局 担当：山崎／馬場／湯川

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル2F

Tel: 042-649-9602 Fax: 042-649-9601

大学FD学修会2015 参加申込書

開催日：2015年5月29日（金）受付：10時00分～

※ 複数でお申込みの場合は、
代表者の方のお名前と参加人数をご記入ください。

所 属		
(フリガナ) お 名 前		
参加人数		
TEL	()	—
FAX	()	—
E-Mail	@	

申込締切：2015年5月25日（月）※人数調整が必要な場合は、先着順とさせていただきます。

学修会にご参加される方へ 当日の昼食は、お弁当をご用意しております。

詳しくはWEBで

http://www.kyoikusw.co.jp/fd_forum/

検索

